

第 28 号議案

足立区クリーニング業法施行条例

上記の議案を提出する。

平成 24 年 2 月 22 日

提出者 足立区長 近藤 弥生

足立区クリーニング業法施行条例

(趣旨)

第 1 条 この条例は、クリーニング業法（昭和 25 年法律第 207 号。以下「法」という。）の施行に関し、クリーニング業法施行令（昭和 28 年政令第 233 号。以下「政令」という。）、クリーニング業法施行規則（昭和 25 年厚生省令第 35 号。以下「省令」という。）に定めるもののほか、必要な事項を定めるものとする。

(営業者が講ずべき措置)

第 2 条 法第 3 条第 3 項第 6 号の規定による必要な措置は、次のとおりとする。

- (1) クリーニング所内は、換気、採光及び照明を十分にすること。
- (2) 洗濯物は、その受渡し及び運搬においても、洗濯又は仕上げを終わったものと終わらないものに区分して取り扱うこと。
- (3) 洗濯物を処理する場所又は格納する容器は、随時薬品で消毒すること。
- (4) 霧吹き作業には、噴霧器を使用すること。
- (5) 法第 3 条第 3 項第 5 号に規定する洗濯物を取り扱う場合においては、その洗濯物を他の洗濯物と区分して処理するための容器を備えること。
- (6) 食品の販売、調理等を行う営業施設その他相互に汚染の可能性のある営業施設と同一施設内に、洗濯物の受取及び引渡しの

ための施設を設ける場合は、当該施設の境界に、壁、板その他
適当な物により障壁を設けること。

(7) ドライクリーニングの溶剤としてテトラクロロエチレンを使
用する場合は、次の措置を講ずること。

ア 貯蔵場所は、床面を不浸透性材料とし、かつ、直射日光及び
雨水を防止できる構造とすること。

イ 貯蔵用タンク等は、密閉でき、かつ、耐溶剤性の容器とする
こと。

ウ 排液処理装置を設置すること。

エ 溶剤蒸気回収装置を設置すること。

オ 蒸留残さ物等の保管場所及び保管容器は、ア及びイに準ずる
こと。

(委任)

第3条 この条例に規定するもののほか、この条例の施行について必要
な事項は、規則で定める。

付 則

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

(提案理由)

クリーニング業法の改正に伴い、営業者の講ずべき措置を定める必要
があるので、この条例案を提出いたします。